

令和6年9月11日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

電気ケトル、スピーカー（充電式）、電動アシスト自転車、高圧洗浄機（充電式）に関する事故（リコール対象製品）について

（詳細は次頁以降参照。）

1. ガス機器・石油機器に関する事故
該当案件なし
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 6件
（うち電気蓄熱式湯たんぽ1件、液晶テレビ1件、電気ケトル1件、
スピーカー（充電式）1件、電動アシスト自転車1件、
高圧洗浄機（充電式）1件）
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 21件
（うちIH調理器1件、電気洗濯機1件、除湿乾燥機1件、電気炊飯器1件、
ノートパソコン1件、液晶テレビ1件、
バッテリー（リチウムイオン、ファン付衣類用）1件、エアコン（室外機）1件、
電気冷蔵庫1件、水槽用照明器具（コンセント付）1件、
ACアダプター（スマートフォン用）1件、電気冷蔵庫1件、
タブレット端末1件、携帯電話機（スマートフォン）1件、
太陽電池モジュール（太陽光発電システム用）1件、
リチウム電池内蔵充電器2件、換気扇（トイレ用）1件、
バッテリー（リチウムイオン、電動工具用）1件、電子レンジ1件、
延長コード1件）
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議において、審議を予定している案件
該当案件なし

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。（管理番号：A202401239、A202501077 を除く。）

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社グループセブジャパンが販売した電気ケトルについて (管理番号：A202600633)

①事件事象について

株式会社グループセブジャパン（法人番号：7010701002766）が販売した電気ケトルを使用中、当該製品の電源プラグ部及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、特定の製造ロットにおいて、電源コードの不適切な使用方法によって電源プラグが破損し、使用の際に、コンセント近辺での発火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2025 年（令和 7 年）9 月 16 日にホームページに情報を掲載するとともに、プレスリリース、SNS の発信及び取引先販売事業者から購入者に対してダイレクトメールの配信を行い、対象製品について電源プレートの交換（無償）を実施しています。

③対象製品：商品名、製品品番、製造時期（4桁の番号）、対象台数

商品名	製品品番	製造時期（4桁の番号）	対象台数
ティファール 電気ケトル	製品品番、製造時期（4桁の番号）は下記「【問合せ先】ウェブサイト」を参照		4,185,393

2025 年（令和 7 年）9 月 16 日からリコール（電源プレートの交換（無償））を実施

交換率：15.0%（2026 年 8 月 31 日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による 2025 年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況
2026年度	3	火災
2025年度	3	火災

※当該事故（管理番号：A202600633）は含まない。

＜対象製品の外観、確認方法＞

対象製品の外観



上写真は一例として「77°レミア プラス シュガー・ピンク 0.8L (BF805774)」を掲載しています。

確認方法

電気ケトル本体の底面には、扇形や長方形のラベルが貼られています（※1）。ラベルの青枠内が製品品番、赤枠内が4桁の番号です。

お手持ちの製品の製品品番と4桁の番号が共に、別表の対象製品と合致する場合、下記の窓口から無償交換のお申込みをお願いいたします。

（※1）製品によっては、ラベルの形やサイズ及び印字内容やレイアウトが写真と異なります。

「ウオッシュブル 0.8L」（製品名）のみ、ラベルではなく電気ケトル本体の底面に、製品品番と4桁の番号が刻印されています。

【ラベルが貼られている箇所】



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う電源プレートの無償交換を申し込まれていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社グループセブジャパン ティファール電気ケトル電源プレート無償交換事務局

受付窓口：受付時間 9時～18時（土日祝日、事業社休業日を除く）

電話番号：0120-153-020（フリーダイヤル）

ウェブサイト：<https://www.t-fal.co.jp/news/250916-1/>

※オンライン受付フォーム（24時間）

<https://www.t-fal.co.jp/news/250916-2/>

(2) アンカー・ジャパン株式会社が輸入したスピーカー（充電式）について
(管理番号：A202600639)

① 事故事象について

車両内で発煙に気付き確認すると、アンカー・ジャパン株式会社（法人番号：8010001151445）が輸入したスピーカー（充電式）及び周辺を焼損する火災が発生していました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品のリコール（回収・交換）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、セル製造を委託しているサプライヤーの製造工程において特定時期に異物が混入している可能性がある製品が国内において出荷され、使用に伴い電池セルの内部短絡が発生し、火災に至る可能性が判明したことから、事故の再発防止を図るため、2025 年（令和 7 年）10 月 21 日にウェブサイトへの情報掲載、プレスリリースの配信・公開、メールマガジン配信及びDMでの周知を行い、対象製品について回収及び交換を実施しています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A202600639）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③ 対象製品：製品名、色、JAN（EAN）コード、型番、販売期間、対象台数

製品名	色	JAN (EAN) コード	型番	販売期間	対象台数
Soundcore 3	ブラック	4571411193170	A3117011	2022 年 12 月 16 日 ～ 2025 年 10 月 21 日	91,933
	ネイビー	4571411196218	A3117031		
	レッド	4571411196225	A3117091		
	グレー	4571411196232	A31170A1		

2025 年（令和 7 年）10 月 21 日からリコール（回収・交換）を実施
回収率：44.4%（2026 年 9 月 10 日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による 2022 年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき重大製品事故の報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況
2026年度	4	火災
2025年度	3	火災
2024年度	0	—
2023年度	0	—
2022年度	0	—

※当該事故（管理番号：A202600639）は含まない

<対象製品の外観及び確認方法>

対象製品の外観



確認方法

1行目：製品名

Soundcore 3

2行目：品番

A3117



シリアルナンバー

AP9LYG3F30501216

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う回収及び交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

アンカー・ジャパン株式会社 受付窓口

電 話 番 号 : 0120-775-171

受 付 時 間 : 9:00~17:00 (土・日・祝日を含む)

ウェブサイト : <https://corp.ankerjapan.com/posts/579>

※オンライン受付フォーム (24 時間)

<http://ankerjapan.com/pages/202510-support>

(3) ブリヂストンサイクル株式会社が製造した電動アシスト自転車について
(管理番号：A202600646)

①事象について

ブリヂストンサイクル株式会社（法人番号：9030001041957）の製造した電動アシスト自転車で走行中、前輪リムが破損し、身体が前方に投げ出され転倒、負傷しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、リムの破損が原因で走行時にバランスを崩すことにより事故が発生したものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2022 年（令和 4 年）10 月 11 日にプレスリリース、ウェブサイトへの情報掲載、翌 12 日に新聞社告を行い、対象製品について、車輪ホイールセット（タイヤチューブ無し）もしくはリム部品を代替品とする無償交換を実施しています。

③対象製品：販売事業者、商品名・車種名、車種略号、リムの製造期間、
対象台（本）数

販売事業者	商品名・車種名	車種略号	リムの製造期間	対象台（本）数
ブリヂストンサイクル株式会社	https://www.meti.go.jp/product_safety/recall/file/221011-2a.pdf 参照	https://www.meti.go.jp/product_safety/recall/file/221011-2a.pdf 参照	2016 年 12 月 ～ 2020 年 12 月	完成車 536,520 台 補修用リム 23,337 本
ヤマハ発動機株式会社	https://www.meti.go.jp/product_safety/recall/file/221011-2b.pdf 参照			完成車 68,325 台 補修用リム 6,779 本

2022 年（令和 4 年）10 月 11 日からリコール（無償交換）を実施
回収率：完成車 45.2%、補修用リム 1.4%（2026 年 6 月 12 日時点）

＜リコール対象製品での事故件数＞

対象製品におけるリコール対象の内容による 2016 年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき重大製品事故の報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2026年度	0	—	2020年度	0	—
2025年度	1	重傷	2019年度	0	—
2024年度	1	重傷	2018年度	0	—
2023年度	2	重傷	2017年度	0	—
2022年度	2	重傷	2016年度	0	—
2021年度	0	—			

※当該事故（管理番号：A202600646）は含まない。

＜対象製品の確認方法＞

対象製品の確認方法

①②のどちらかが該当する場合、対象製品の可能性がありますので販売店もしくは各社お問い合わせ窓口までご連絡ください。

① 対象車両「2016年12月から2020年12月に製造された一部の車両に搭載されたステンレス製リム」

ブリヂストンサイクル製品

ご使用の製品の車両情報(車種略号・商品コード・製造ロット)をご確認の上、ホームページにて対象車両かご確認ください。
https://www.bscycle.co.jp/search_rlm/

1. ご使用の製品のフレームの前後いずれかに貼られている車種表示マークをご確認ください。
 ※車種表示マークの「車種略号」と「商品コード」の記載順は、車種により異なる場合があります。アルファベットで始まるものが「車種略号」、数字で始まるもの(2文字目は英字)が「商品コード」になります。



リコール対象車両 追加のご案内

2022年10月11日付で開始した「ステンレス製リム」無償交換につきまして、2023年5月16日付で対象車両を追加しましたので、対象外とご確認されたお客様も再度ご確認をお願い申し上げます。



車種表示マーク (下は表示例)

F6DB49

3P90CD

(数字6桁)

車種略号
商品コード
製造ロット

ヤマハ発動機製品

ご使用の製品のPAS号機番号をご確認の上、下記の対象製品一覧表にて対象車両かご確認ください。
 ※PAS号機番号は、フレームのヘッドパイプ部もしくはシートパイプ部に貼付されている銀色の製品ラベルに印字されています。



X123-1234567

PAS号機番号

※左記サンプルのPAS号機番号は、[X123-1234567]です

PAS商品名	PAS号機番号	PAS商品名	PAS号機番号
PAS ナチュラL / PAS ナチュラXL	X0L1-4042926 ~ X0L1-4071975	PAS Raffini	X0T3-1001401 ~ X0T3-1001450
PAS ナチュラXLデラックス	X0L1-5018726 ~ X0L1-5021000	PAS ナチュラスーパー	X0LA-2002726 ~ X0LA-2002875
PAS Fiona	X1U7-0001001 ~ X1U7-1001300	PAS GEAR-U	X0LK-1001351 ~ X0LK-2001725
PAS Ami	X0L9-2007201 ~ X0L9-5003800	PAS Kiss	X0T4-1001501 ~ X0T4-1001550
	X2PC-0001001 ~ X2PC-0001400		

② 対象補修用リム「2016年12月以降に補修用として交換され、下記刻印とラベルが共にあるステンレス製リム」

バルブ近くの刻印



ブリヂストン製を示すBマーク

26 x 1 3/4" 18 STAINLESS

ステンレス製を示す"STAINLESS"

バルブと180°(反対側)にあるラベル



ブリヂストン製を示すBRIDGESTONE

ステンレス製を示す"STAINLESS"

中国製を示すCHINA

※ 刻印が薄いものやラベルがはがれることで、見えにくくなっているものがあります。不明点がある場合は販売店または各社お問い合わせ窓口までご連絡ください。

お客様へのお願い

製品をご確認頂き、リムの溶接部分の「線状のサビ・ヘコミ・ひび割れ」がある場合は直ちに使用を中止してください。

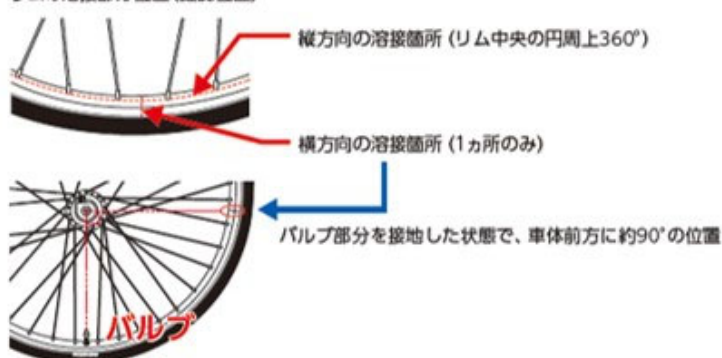


対象製品をご使用中、ステンレス製リムの破損などが原因で走行時にバランスを崩すことによる事故が発生しています。

リムの溶接部分に「線状のサビ・ヘコミ・ひび割れ」が確認された場合は、直ちに製品の使用を中止し、販売店もしくは各社お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ご確認項目

リムの溶接部分位置(確認位置)



■リムの溶接部分に「線状のサビ、ヘコミ、ひび割れ」が無いか確認ください



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、まだ事業者の行う無償交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ブリヂストンサイクル株式会社

「ステンレス製リム」無償交換お客様コールセンター

電話番号：0120(662) 722

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・事業者指定休日を除く。）

ウェブサイト：<https://www.bscycle.co.jp/info/2022/10752>

ヤマハ発動機株式会社 「ステンレス製リム」無償交換コールセンター

電話番号：0120(456) 579

受付時間：10時～12時30分、13時30分～18時（土・日・祝日・事業者指定休日を除く。）

ウェブサイト：<https://www.yamaha-motor.co.jp/recall/pas/2022-pm018/>

(4) 株式会社サイン・ハウスが輸入した高圧洗浄機（充電式）について
(管理番号：A202600653)

①事象について

株式会社サイン・ハウス（法人番号：6010902006286）が輸入した高圧洗浄機（充電式）及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品に搭載されたバッテリーパックについて、バッテリーセルの製造過程において製造上の問題により、火災が発生したものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品について、当該製品に搭載されたバッテリーパックについて、バッテリーセルの製造過程において製造上の問題により、発煙・発火が発生する可能性があることから、事故の再発防止を図るため、2025（令和7年）7月23日にウェブサイトへ情報掲載するとともに、販売店への案内、一部のお客様へは販売店経由でダイレクトメール送付を行い、2025年（令和7年）8月4日に対象製品について回収及び交換を実施しています。

③対象製品：商品名、J A N (E A N) コード、型番、販売期間、対象台数

商品名	J A N (E A N) コード	型番	販売期間	対象台数
ポケットブル高圧洗浄機 (ブランド名：SPICERR)	4541408007384 (SWU-1) 4541408007414 (PHP-1)	SWU-1 PHP-1	2024 年 7 月 18 日 ～	88,710

2025 年（令和 7 年）8 月 4 日からリコール（回収・交換）を実施
回収率：71.9%（2026 年 8 月 31 日時点）

＜リコール対象製品での事故件数＞

対象製品におけるリコール対象の内容による 2024 年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき重大製品事故の報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況
2026年度	10	火災
2025年度	14	火災
2024年度	0	—

※当該事故（管理番号：A202600653）は含まない。

<対象製品の外観及び確認方法>

対象製品の外観



確認方法



本体背面の内容を御確認いただき、該当する商品につきましては安全のため、製品の放電をして保管をお願いします。

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う回収及び交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社サイン・ハウス お問い合わせ窓口

電話番号：0120-196-353

受付時間：月曜日～金曜日 10:00-17:00（土・日・祝日は除く）

ウェブサイト：<https://sygnhouse.jp/support/2025re/swu-1/>

※オンライン受付フォーム

<https://sygnhouse.jp/support/2025re/swu-1/>

【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担 当：松本、上田（俊）、別所、箭竹、上田（謙）

電 話：03(3507)9204（直通）

U R L：<https://www.caa.go.jp/>

経済産業省産業保安・安全グループ製品安全課製品事故対策室

担 当：日野、松本、中谷

電 話：03(3501)1511（内線）4311

■消費生活用製品の重大製品事故一覧

別 紙

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)
該当案件なし

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202401239	令和7年1月19日	令和7年3月13日	電気蓄熱式湯たんぽ	EWT-1962	スリーアップ株式会社	重傷1名	当該製品を蓄熱後、蓄熱用プラグを外そうとしたところ、当該製品が破裂し、内容物がかかり、火傷を負った。 調査の結果、当該製品は、安全装置用のサーモスタット内のバイメタルが腐食したことにより、安全装置が正常に働かなかったため、当該製品内の温度が異常上昇し、内圧が上昇して破裂したものと推定される。	大阪府	令和7年3月18日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202501077	令和7年12月30日	令和8年1月16日	液晶テレビ	KJ-55X8000H	ソニーマーケティング株式会社（輸入事業者）	火災	当該製品の内部を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品のバックライト用LEDが故障した際、保護回路の動作が遅れてLED基板に過電圧がかかり銅箔パターンが異常発熱し、周辺の反射シートが焼損したものと推定される。	岐阜県	令和8年1月20日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202600633	令和8年7月12日	令和8年9月7日	電気ケトル	KO4904JP	株式会社グループセブジャパン（輸入事業者）	火災	当該製品を使用中、当該製品の電源プラグ部及び周辺を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、特定の製造ロットにおいて、電源コードの不適切な使用方法によって電源プラグが破損し、使用の際に、コンセント近辺での発煙ないし発火に至ったものと考えられる。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年9月4日 令和7年9月16日からリコールを実施（特記事項を参照） 交換率：15.0%
A202600639	令和8年8月5日	令和8年9月8日	スピーカー（充電式）	A3117	アンカー・ジャパン株式会社（輸入事業者）	火災	車両内で発煙に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	福島県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年9月1日 令和7年10月21日からリコールを実施（特記事項を参照） 回収率：44.4%

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202600646	令和8年7月2日	令和8年9月8日	電動アシスト自転車	F6DB40	ブリヂストンサイクル株式会社	重傷1名	当該製品で走行中、前輪リムが破損し、身体が前方に投げ出され転倒、負傷した。事故の原因は、現在、調査中であるが、リムの破損が原因で走行時にバランスを崩すことにより事故が発生したものと考えられる。	千葉県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年8月31日 令和4年10月11日からリコールを実施（特記事項を参照） 回収率：完成車45.2%、補修用リム1.2%
A202600653	令和8年8月30日	令和8年9月9日	高圧洗浄機（充電式）	SWU-1	株式会社サイン・ハウス（輸入事業者）	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故の原因は、現在、調査中であるが、当該製品に搭載されたバッテリーパックについて、バッテリーセルの製造過程において製造上の問題により、火災が発生したものと考えられる。	兵庫県	令和8年9月10日に消費者安全法の重大事故等として公表済 令和7年8月4日からリコールを実施（特記事項を参照） 回収率：71.9%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202600629	令和8年8月10日	令和8年9月7日	IH調理器	火災	当該製品を使用中、当該製品を溶融する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年8月27日
A202600630	令和8年8月23日	令和8年9月7日	電気洗濯機	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	大阪府	
A202600631	令和8年8月4日	令和8年9月7日	除湿乾燥機	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	佐賀県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年8月29日
A202600632	令和8年8月24日	令和8年9月7日	電気炊飯器	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	
A202600634	令和8年8月23日	令和8年9月8日	ノートパソコン	火災	当該製品を使用中、当該製品の内部を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A202600635	令和8年8月27日	令和8年9月8日	液晶テレビ	火災	当該製品を使用中、当該製品から発煙する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A202600636	令和8年8月25日	令和8年9月8日	バッテリー（リチウムイオン、ファン付衣類用）	火災	工場で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	宮崎県	
A202600637	令和8年8月24日	令和8年9月8日	エアコン（室外機）	火災	施設で当該製品を使用中、異音及び発煙に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202600638	令和8年8月31日	令和8年9月8日	電気冷蔵庫	火災	倉庫で発煙に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	福井県	製造から40年以上経過した製品
A202600640	令和8年8月22日	令和8年9月8日	水槽用照明器具(コンセント付)	火災	店舗で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A202600641	令和8年8月27日	令和8年9月8日	ACアダプター(スマートフォン用)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	栃木県	
A202600642	令和8年7月14日	令和8年9月8日	電気冷蔵庫	火災	当該製品を焼損し建物1棟を全焼する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	福岡県	令和8年8月20日に消費者安全法の重大事故等として公表済 事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年8月27日
A202600643	令和8年8月18日	令和8年9月8日	タブレット端末	火災	当該製品に他社製のACアダプター及びUSBケーブルを接続して充電中、当該製品を焼損し周辺を汚損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	
A202600644	令和8年8月23日	令和8年9月8日	携帯電話機(スマートフォン)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	
A202600645	令和8年8月4日	令和8年9月8日	太陽電池モジュール(太陽光発電システム用)	火災	発煙に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	北海道	事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年8月27日
A202600647	令和8年6月29日	令和8年9月9日	リチウム電池内蔵充電器	火災	異音がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	令和8年7月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済 事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年8月27日

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202600648	令和8年8月22日	令和8年9月9日	リチウム電池内蔵充電器	火災	宿泊施設で当該製品を充電中、異音とともに当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	北海道	令和8年9月10日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A202600649	令和8年8月13日	令和8年9月9日	換気扇(トイレ用)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	千葉県	
A202600650	令和8年9月1日	令和8年9月9日	バッテリー(リチウムイオン、電動工具用)	火災	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	北海道	
A202600651	令和8年8月28日	令和8年9月9日	電子レンジ	火災	事務所で当該製品を使用中、火災報知器が鳴動したため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A202600652	令和8年6月25日	令和8年9月9日	延長コード	火災	当該製品に電気製品を接続していたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	岐阜県	令和8年7月10日に公表した食器洗い乾燥機に関する事故(A202600325)と同一 令和8年7月9日に消費者安全法の重大事故等として公表済 事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年9月1日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件なし